

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,270	1.0	35	△59.6	33	△39.5	△167	—
29年3月期第1四半期	6,206	3.2	86	105.8	55	17.4	△36	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △184百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △77百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△23.21	—
29年3月期第1四半期	△5.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	9,701	4,321	44.0
29年3月期	10,255	4,721	45.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,270百万円 29年3月期 4,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,400	6.0	280	10.3	290	45.7	10	△66.5	1.39
通期	27,000	5.4	860	21.2	900	26.5	300	△16.0	41.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	7,200,000株	29年3月期	7,198,500株
30年3月期1Q	137株	29年3月期	137株
30年3月期1Q	7,199,072株	29年3月期1Q	7,193,248株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善がみられ、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費の回復までには至らず海外における政治・経済の不透明感から引き続き不安定な状況が続きました。

外食産業におきましても、個人消費が十分に回復しない中、食材価格の高止まりや人手不足による人件費の上昇に加え他業態との顧客獲得競争がさらに激化し、経営環境は厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、中期経営計画「継承」～「改革」～「飛躍」の初年度である継承期にあたり、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、「ちゃんとごはん。」を大戸屋ブランドのスローガンに掲げ、店舗価値の向上や人材の育成に取り組むとともに、6月にはグランド・メニューのリニューアルを行い、野菜を重視した商品の開発にも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきまして、「大戸屋ごはん処」4店舗（直営2店舗、フランチャイズ2店舗）を新規に出店いたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で446店舗（うち国内直営146店舗、国内フランチャイズ206店舗、海外直営13店舗、海外フランチャイズ81店舗）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は6,270百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益35百万円（同59.6%減）、経常利益33百万円（同39.5%減）となり、創業者功労金200百万円及び固定資産除却損18百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は167百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」2店舗（新さっぽろサンピアザ店、溝の口店）の新規出店がありました。また、国内直営事業でありました2店舗（飯能店、練馬駅南口店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」145店舗、「おとや」（他業態）1店舗の総計146店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は3,473百万円（前年同期比1.8%増）、営業損失22百万円（前年同期は19百万円の営業利益）となりました。

② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」2店舗（大垣店、津山の手店）の新規出店がありました。また、国内直営事業でありました2店舗（飯能店、練馬駅南口店）が国内フランチャイズ事業となりました。

これにより、当第1四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」206店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は1,976百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益244百万円（同1.7%減）となりました。

③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第1四半期連結会計期間末現在、13店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に5店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗）稼働しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は708百万円（前年同期比0.1%増）、営業損失42百万円（前年同期は14百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第1四半期連結会計期間末現在、81店舗（タイ王国において43店舗、台湾において28店舗、インドネシア共和国において7店舗、中国上海市において2店舗、ベトナムホーチミン市において1店舗）を展開しており、当第1四半期連結累計期間の売上高は47百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益30百万円（同439.6%増）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及びタイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業であり、当第1四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Yフィールがメンテナンス事業を、株式会社O T Y食ライフ研究所が食育事業を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. がプライベートブランド商品の輸入・販売をタイ王国で行っており、当第1四半期連結累計期間の売上高は64百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比13.4%減）、営業利益5百万円（前期は3百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金1,895百万円を主なものとして3,877百万円（前連結会計年度末比13.8%減）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,344百万円と敷金及び保証金1,845百万円を主なものとして5,824百万円（同1.2%増）であり、資産合計では9,701百万円（同5.4%減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、1年内返済予定の長期借入金1,200百万円、買掛金1,004百万円及び未払金1,059百万円を主なものとして3,909百万円（前連結会計年度末比3.7%増）、固定負債は、資産除去債務339百万円を主なものとして1,470百万円（同16.7%減）であり、負債合計では5,379百万円（同2.8%減）となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は4,321百万円（前連結会計年度末比8.5%減）となり、自己資本比率は44.0%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成29年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,608,373	1,895,367
売掛金	990,365	936,606
原材料及び貯蔵品	68,714	90,309
その他	853,936	973,846
貸倒引当金	△21,988	△18,819
流動資産合計	4,499,401	3,877,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,401,162	2,484,135
工具、器具及び備品(純額)	755,448	772,604
その他(純額)	111,203	87,392
有形固定資産合計	3,267,813	3,344,133
無形固定資産		
のれん	109,705	98,713
その他	63,350	66,369
無形固定資産合計	173,055	165,082
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,831,754	1,845,597
その他	483,809	469,428
投資その他の資産合計	2,315,564	2,315,025
固定資産合計	5,756,433	5,824,241
資産合計	10,255,835	9,701,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,120,281	1,004,928
1年内返済予定の長期借入金	1,251,082	1,200,750
リース債務	146,615	144,015
未払金	694,982	1,059,687
未払法人税等	127,477	13,990
賞与引当金	58,969	30,002
その他	370,654	455,692
流動負債合計	3,770,062	3,909,066
固定負債		
長期借入金	301,200	—
リース債務	190,236	191,724
退職給付に係る負債	329,943	333,137
資産除去債務	328,973	339,991
その他	614,236	605,891
固定負債合計	1,764,589	1,470,745
負債合計	5,534,651	5,379,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,474,394	1,475,154
資本剰余金	1,392,594	1,393,354
利益剰余金	1,699,661	1,316,634
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,566,529	4,185,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	869	912
為替換算調整勘定	126,066	103,811
退職給付に係る調整累計額	△20,745	△18,779
その他の包括利益累計額合計	106,189	85,944
新株予約権	514	441
非支配株主持分	47,949	50,332
純資産合計	4,721,183	4,321,739
負債純資産合計	10,255,835	9,701,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,206,820	6,270,337
売上原価	2,774,437	2,770,377
売上総利益	3,432,383	3,499,959
販売費及び一般管理費	3,345,493	3,464,826
営業利益	86,889	35,133
営業外収益		
受取利息	336	272
受取配当金	74	90
協賛金収入	12,019	12,861
その他	2,953	4,351
営業外収益合計	15,383	17,576
営業外費用		
支払利息	10,685	5,606
為替差損	35,963	13,090
その他	253	493
営業外費用合計	46,902	19,190
経常利益	55,370	33,519
特別利益		
受取保険金	8,659	—
受取和解金	4,960	—
特別利益合計	13,619	—
特別損失		
固定資産除却損	102	18,436
減損損失	1,919	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,156	—
創業者功労金	—	200,000
その他	916	—
特別損失合計	7,095	218,436
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,895	△184,916
法人税等	97,360	△20,026
四半期純損失(△)	△35,465	△164,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	844	2,186
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36,309	△167,076

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△35,465	△164,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,006	43
為替換算調整勘定	△38,260	△22,058
退職給付に係る調整額	1,524	1,965
その他の包括利益合計	△41,742	△20,048
四半期包括利益	△77,208	△184,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△75,740	△187,321
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,467	2,383

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,411,703	1,971,110	707,750	41,793	6,132,357	74,462	6,206,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	103,777	103,777
計	3,411,703	1,971,110	707,750	41,793	6,132,357	178,239	6,310,597
セグメント利益又は損失(△)	19,398	249,312	△14,627	5,651	259,735	△3,236	256,499

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	259,735
「その他」の区分の利益	△3,236
セグメント間取引消去	5,865
全社費用(注)	△175,475
四半期連結損益計算書の営業利益	86,889

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,473,292	1,976,794	708,195	47,603	6,205,886	64,450	6,270,337
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	109,056	109,056
計	3,473,292	1,976,794	708,195	47,603	6,205,886	173,506	6,379,393
セグメント利益又は損失(△)	△22,318	244,999	△42,960	30,497	210,217	5,891	216,108

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	210,217
「その他」の区分の利益	5,891
セグメント間取引消去	3,660
全社費用(注)	△184,635
四半期連結損益計算書の営業利益	35,133

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

(連結子会社間の合併)

当社は、平成29年8月10日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社大戸屋及び株式会社O T Y食ライフ研究所の2社間による合併を行うことを決議しました。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

(i) 結合企業

名称 株式会社大戸屋 (当社の100%子会社)

事業の内容 飲食事業

(ii) 被結合企業

名称 株式会社O T Y食ライフ研究所 (当社の100%子会社)

事業の内容 食育事業

②企業結合日

平成29年10月1日

③企業結合の法的形式

株式会社大戸屋を存続会社、株式会社O T Y食ライフ研究所を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社大戸屋

⑤その他取引の概要に関する事項

両子会社の経営資源を統合して経営の効率化を図り、当社グループの企業価値を向上させるため。

(2) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理します。